

U.S. Indicators

発表日:2021年1月18日(月)

米国 制限強化と年末商戦前倒しで小売の減少継続

～10-12月期のコア小売は再び減少に転じた～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

12月の小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.7%（11月同▲1.4%）とマイナス幅を縮小したが、市場予想中央値（ブルームバーグ集計）の前月比0.0%を下回ったうえ、10、11月合計で0.3%下方修正された。また、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比▲1.4%（11月同▲1.3%）とマイナス幅を拡大し、市場予想中央値の前月比▲0.2%を大幅に下回った（10、11月合計で0.5%下方修正）。さらに、小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比▲2.3%（前月同▲1.5%）とマイナス幅を拡大した（10、11月合計0.6%下方修正）。

人の移動が活発化するなか、マスクの不着用、ソーシャルディスタンス不徹底などもあり、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが加速した。このため行動制限の強化や、自粛の動きが強まったほか、年末商戦の前倒しの影響によって、前月比で減少が続いた。

コア小売売上高は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で▲2.6%（11月+8.9%）とマイナスに転じ、拡大モメンタムを失った。四半期でみても、10-12月期に前期比年率▲2.6%と7-9月の前期比年率+62.0%（4-6月期同▲26.4%）からマイナスに転じた。

12月小売売上高（主要13業態）は、前月比で6業態（11月3業態）が拡大し、7業態（前月10業態）が縮小した。自動車・同部品、薬局、ガソリンスタンド、衣料品、その他小売が増加に転じたほか、建設資材店が加速した。一方、食品・飲料が前月の反動で減少に転じたうえ、年末商戦前倒しの影響で無店舗小売、規制強化で飲食店が減少幅を拡大した。また、家具、家電、スポーツ用品・本・趣味用品、百貨店など一般小売が減少を続けた。

12月小売売上高（前月比▲0.68%）の主要13業態の前月比寄与度をみると、押し上げ寄与となった業態は、大きい順にガソリンスタンド（+0.46%、11月▲0.11%）、自動車・同部品（+0.40%、同▲0.32%）、衣料品（+0.08%、同▲0.21%）、建設資材（+0.06%、同+0.06%）、薬局（+0.06%、同▲0.02%）、その他小売り（+0.04%、同0.00%）の6業態と前月の2業態から増加した。一方、押し下げ寄与となった業態は、無店舗小売（▲0.86%、11月▲0.26%）、飲食店（▲0.42%、同▲0.35%）、食品・飲料（▲0.18%、同+0.19%）、百貨店を含む一般小売（▲0.13%、同▲0.15%）、家電（▲0.06%、同▲0.11%）、家具（▲0.01%、同▲0.04%）、スポーツ用品・本・趣味用品（▲0.01%、同▲0.02%）の7業態と前月の10業態から減少した。

1月も新型コロナウイルスの感染者数、死者数は過去最悪を更新し続けており、少なくとも2月にかけて一部の州・郡などでソーシャルディスタンスを考慮した対策の維持・強化をせざるを得ないだろう。ただし、経済支援策第4弾で600ドルの給付金が行われたことや失業保険の上乗せなどが3月まで延長されたことを背景に、21年1-3月期の小売売上高は増加に転じると予想される。

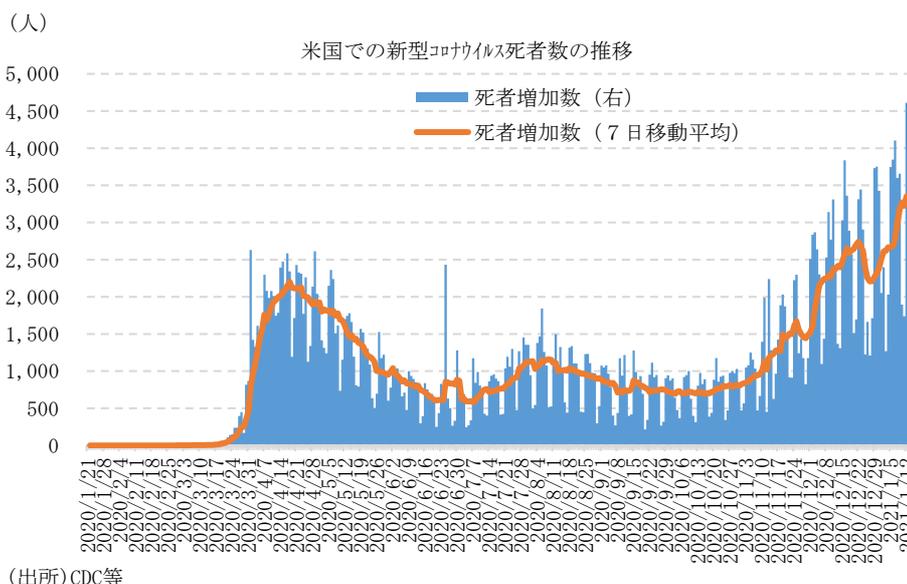
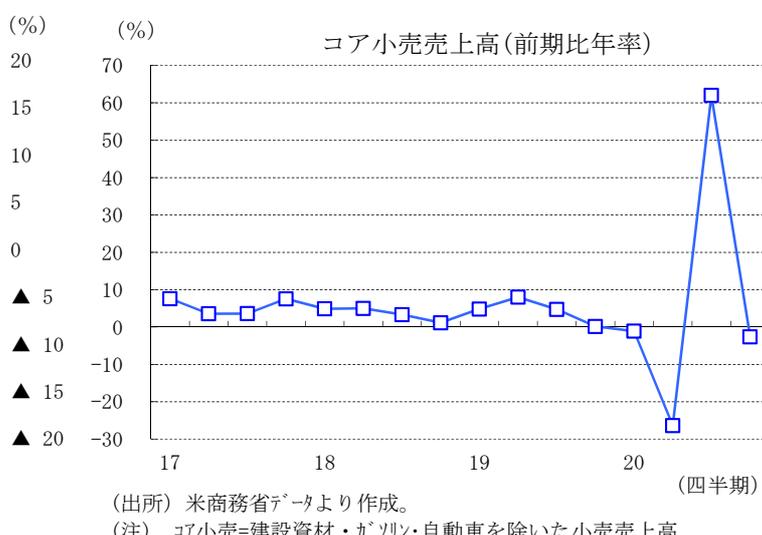
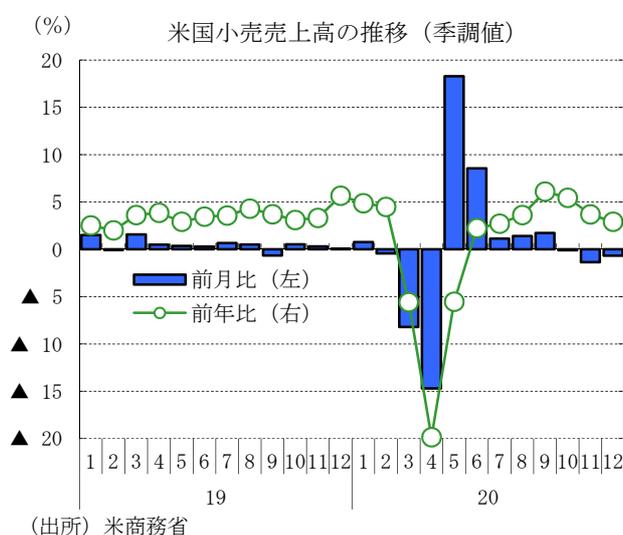
小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

			耐久財関連 (*1)					非耐久財関連 (*2)			
			除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
20/01	+0.8	(+5.7)	+0.7	+1.6	+0.9	+3.4	+1.0	+0.3	▲0.6	▲1.0	
20/02	▲0.4	(+5.2)	▲0.5	▲0.7	▲0.4	▲0.1	▲1.3	▲0.3	▲1.6	▲2.9	
20/03	▲8.2	(+8.1)	▲3.8	▲19.6	▲25.9	▲22.1	▲17.6	+2.3	▲48.7	▲16.5	
20/04	▲14.7	(▲6.6)	▲15.2	▲13.5	▲12.2	▲48.9	▲43.4	▲12.3	▲73.5	▲24.5	
20/05	+18.3	(▲19.4)	+12.3	+37.9	+48.3	+77.1	+24.6	+9.0	+180.1	+12.0	
20/06	+8.6	(▲7.1)	+8.4	+9.4	+9.0	+39.0	+38.5	+5.6	+99.7	+15.0	
20/07	+1.1	(+3.6)	+1.6	+0.1	▲0.6	+2.1	+19.4	+1.2	+2.7	+4.5	
20/08	+1.4	(+3.7)	+1.5	+1.4	+1.1	+2.4	+0.1	+0.9	+2.8	+0.8	
20/09	+1.7	(+0.9)	+1.4	+2.1	+3.1	+0.1	▲2.0	+1.4	+15.4	+1.8	
20/10	▲0.1	(+7.9)	▲0.2	+0.1	+0.1	▲0.2	+1.6	▲0.2	▲3.6	+0.0	
20/11	▲1.4	(+5.8)	▲1.3	▲1.4	▲1.5	▲2.1	▲8.3	▲1.0	▲6.1	▲1.6	
20/12	▲0.7	(+2.0)	▲1.4	+1.2	+1.9	▲0.6	▲4.9	▲1.1	+2.4	+6.6	

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。